



# 東京農業大学 湘南なぎさ会 会報

【編集発行人】 湘南なぎさ会会長 神田務

## 悔しさを原動力に

今年ももう行く年を惜しみながらも、新しい年に希望を馳せるこの頃、気ぜわしい時期となりました。

去る10月19日に43校が参加する第101回東京箱根間往復大学駅伝予選会が行われました。箱根本戦に出場できるのは本年上位10校までで、箱根本戦各区间と同じくハーフマラソン (21.0975km) の10人合計タイムで競われます。

昨年に続き、箱根本戦出場を目指しましたが、結果総合11位となり、残念なことに2年連続の出場権獲得とはなりませんでした。

テレビ中継や当日現場で見られた方も多いと思われませんが、陸上自衛隊立川駐屯地く国営昭和記念公園の当日は夏季から続く高温という異常気象にて大変暑く、秋晴れとは程遠くこの時期走る選手には (応援するOB諸

氏にとっても) 過酷な状況だったとの生の報告も受けました。

レース展開の序盤は、集団走行のため戦略的に26位でしたが、5キロメートル毎の計測ポイントで順位を上げ、20キロ地点で11位となりましたが、そこから1秒、2秒が削り取れませんでした。



農大7人が、通過見える

この大会の戦略として、一般的に語られる他校のように外国人留学生またはスーパースペースによるタイム貯

## 惜しくも1秒・されど1秒・・・箱根届かず

金を1人または2人で稼ぐ、あるいは集団走による総合力で勝つ、等色々あるうかと思われませんが、予選会通过の10位前後の当落選の各校を少々分析しますと、各校個人成績上位8人までの合計タイムが勝敗を分け、更に100位以内の選手を半数揃えられるかが勝利のカギとなる様子。今年においては、昨年と予選1位を比べても10人で19分も遅延する過酷な結果で、本校も昨年比20分違い、ほぼ同じ条件・結果でした。

陣で予選通過を目指していましたが、涙を飲みました。

エース前田選手を欠くという精神的にも過酷な環境の中、この走りが出来たことは選手には大きな自信になったとのこと、未来に繋ぐ健闘したと表現する方が正しいレース運びでしょう。

しかしながら、タイムがある競技は残酷なもので、10位との差は僅か1秒差という惜敗は、神様のいたずらかというような悔しい・無念を通り越して、当人達にとっては気の毒という表現がなせる結果でした。



師走は別名「春待月」、雌伏の時を経て、来年は若い力が開花する日を待ちましよう。

(敬称略)



第26回湘南なぎさ会総会開催

秋らしい秋も短く、街路

樹も葉を落とし、急な冬

の装いに変わりました

が、皆様お健やかに

ごしでしょうか。

日頃より当会の諸活動

にご協力、ご理解頂き、

誠に有難く存じます。

新型コロナウイルス禍とは何

だっただのかという様なも

う過去のこと感じます。

暮らし方や意識、医療体

制等の生活構造が少々変

わりはしましたが、皆様に

とって生活は通常通りと

言えるまでに戻ってきた

ことと思われま

迎え、21名の参加者により開催さ

れました。

活動報告としては、本年

正月の箱根駅伝に10年

ぶりの出場と相まって、

当役員会も8回となり、

校友会・県支部と応援

準備等の依頼・実務打

合せも実施してまいりま

した。他の事業としては、

箱根駅伝応援施設・実

施報告、SUC参加、県

支部役員会・県支部総会

参加、校友会本部への

様々な依頼を実施。

収支決算報告、事業計

画案、収支予算案が上程

↓SUCと重なり、後藤

副幹事長にて応援参加。

(4)親睦会・会員間親睦

強化、女性会員増強活動

↓当会親睦会開催。親睦

深める企画の検討。

(5)SUCとの交流

↓令和6年10月19日

幹事校明治大学

(6)収穫体験等のイベン

ト検討・実施

↓令和6年10月20日

高温異常気象のため急遽

実施。

(7)広報の発行

(8)役員会の開催

↓通常通り実施。

【令和6年度事業計画】

(1)通常総会の開催

(2)箱根駅伝の応援準備

↓本戦出場想定とし、大

根配布に代わる応援方法

【陸上部支援金】

箱根への道oneコイン

募金として、皆様からお

預かりした18万2千円

を送金、総会時集めた7

千円を本年度送付済み。



第二部は、5年振りに記念公演として、渋谷園芸代表、全国野菜園芸技術研究会会長であります当会の渋谷忠宏(昭53卒)副会長にて、『トマトのはなし』という題目で講演いただきました。夏野菜の代表格のトマトという食卓でも家庭菜園でもお馴染みですが、生産者と趣味の園芸ではどう違うのか等、実例を踏まえてコツを話していただきました。生産者の

露地・大規模施設栽培の土台となる土づくり・追肥の重要性から、病害虫対策の予防苦勞等、生の声という核心的な貴重なお話をいただきました。どの分野でも社会的に問題になっていいる高齢化・後継者不足は、農業・農家の取り巻く環境にとっても危急的に切実なものがあり、昨今のコメ不足問題も、昨今のコメ供給という国としての基幹・根幹事業が、この数年、10数年の内に成り立たなくなる可能性もあるとのこと。前述もさることながら、2030年まで義務として化石燃料の50%削減目標という厳しい設定が農業においてもなされるとのことでした。地場野菜も食べられなくなる未来もあるかもしれません。同業先輩後輩諸氏のいる中で、中々話し辛かったこととご推察します。第三部は懇親会として、旧知の親睦を深め、今年も久々に各会員・役

員より頂戴した季節の野菜・蘭・メロン・お米・農大グッズ等を景品に農大らしいビンゴ大会を盛大に実施しました。景品として出して下さった方々にはお礼申し上げます。

最後に後藤茂樹副幹事長による箱根駅伝本戦の報告と裏話、今年の陸上長距離部の近況と共に、前田選手が5月3日に行われた第108回日本選手権 1000m で男子 1000mU20 日本新記録を樹立したとの報告がありました。その後これまた恒例の後藤副幹事長のエールに始まる学歌斉唱により盛況裡に幕を閉じました。

\*\*\*\*\*

今年の夏から秋は例年にも増して夏日更新の酷暑続きで、富士山の初冠雪も11月も過ぎてからという歴史的な一年でありました。

皆様には体調に気を付け、健やかな新年をお迎え下さい。さらに箱根駅伝に学連選抜にて高島侑翔選手(食料環境経済

4年)がエントリリーしています。小指徹監督、駅伝主務の岡部日向子女史(食料環境経済4年)も学連選抜監督、スタッフとして本選を支えるのとこのです。

出場の際は、応援下さいますよう重ねて宜しくお願い申し上げます。来年の総会は2025年7月5日(土)15時開催予定としております。皆様と直接お目にかかれることを切に願っております。

箱根駅伝 応援の今日

1月2日、3日の両日に実施されました箱根駅伝の応援に際して、一部変更がありました。

具体的には、大会本部と本校・校友会関係者にてギリギリまでその方法に折衝がありました。大根の配布・大根を持つての応援が応援用品・グッズ等の金品配布(応援引込)に当たるとして、直前に中止としました。

会員様のお誘い

は農大らしい方法を模索して臨む所存です。

湘南なぎさ会も、早いもので設立26年となりました。本学の箱根駅伝出場が一番の親睦となることは確信しておりますが、当会の運営において新たな力も欲しております。

一人でも多くの会員が増えれば、湘南なぎさ会も広がっていきます。そのきっかけを会員全員で実践し、仲間を増やし勧めることを心がけていただければと思います。もしお近くに卒業生、関係者がいましたら、お声かけ下さりますよう宜しくお願い申し上げます。

\*\*\*\*\*

紙だけでなく、動画や記事をスマートフォンやパソコンで見られたら、また違った交流ができるかもしれません。取材を受けたい、こんなことをしてい

る、こんなもの作った、お知らせしたいことがあるという方は、遠慮なくお知らせ下さいと思います。お待ちしております。



校友会本部にて組織の動向、OB同士の動向、各種手続き、県内外支部等の活動などホームページにてお知らせしております。左記のURL・QRコードからパソコン・スマートフォン等でご参照下さい。

【 <https://www.nodai-koyukai.jp/> 】

また、会員様にて住所変更等があった場合にも変更手続きをお願いします。



第26回湘南ユニバーシティクラブ (SUC) が盛大に開催される!

去る10月19日(土)藤沢市民会館第1展示ホールにて、湘南ユニバーシティクラブ(SUC)親睦交流会が開催されました。

本年は明治大学校友会藤沢地域支部様が幹事校を務められ、昨年までの湘南クリスタルホテルから会場を移し、加盟14校97名にて催行され、当会からは6名の参加で臨みました。昨年とは変わり、同テーブル3校毎として親睦を深め、盛況裡に終わりました。



今年も当日は午前中に箱根駅伝予選会と重なり、

そちらに午前中に応援、とんぼ返りで参加されたSUC会員もおられました。

同予選会結果は会員の皆さんご存じの通り、10人で1秒に泣いた惜敗となり、「どうしてさ」「や」「エースはどうした?」「後世に長々と伝わる歴史に残る予選会だった」と、昨年の劇的な10年振り出場とは異なる、ある意味農大らしいと慰めの言葉?をいただきました。

記念講演は同大学卒の元藤沢市 藤澤浮世絵館学芸員、現明治学院 歴史資料館特任研究員の細井守



氏による『地域を知る:浮世絵にみる湘南』という演目で、江戸時代く明治の浮世絵に残る湘南地域の風俗・景観について、貴重な講演をいただきました。

浮世絵とは、字のごとく時代のポストターであり、時空を超えて知識を伝えるもの、今と昔を繋ぐ架け橋であり、見ておっ!と思わせるような楽しいものが描かれているとのことでもあります。旅行パンフレットも兼ねるものでもあり、不愉快なものも出てこないといった様式美があるとのこと。

藤沢を中心とした湘南地域の浮世絵にはどのようなのかが描かれていたかなどを説明いただき、描きたいものを時にはデフォルメし、表現が自由な浮世絵の魅力を語っていただきました。

第二部の交流・親睦会は、昨年までの新型コロナウィルスの収束を下に、「今までの生活に戻す・戻った」との意味合いから、旧来の各校同士の親睦に重点を置いた前述の席

次となりました。

今回は懇親会では少々趣向を変え、事前アンケートを基に明治大学さんらしい研究発表の披露をさされました。具体的には、各大学OB会が共通に掲げ



る問題を深く掘り下げ、共通認識擦り合わせ、他大学の特色ある活動の事例や魅力あるOB会とするきっかけを指し示す勉強会といった趣旨でした。

記念アトラクションとしては、同大学支部長である寺谷啓一支部長が有するバンドによる往年の名曲コンサートにて、会場が許す限り最後まで演奏され、盛況裡に終わりました。

\*\*\*\*\*



湘南ユニバーシティクラブ(SUC)にて渋谷忠宏副会長から、「猛暑でえだまめが早く成長してしまっている」とのこと、「明日はどう?1週間後はダメかも」ということで、翌日という急なお誘いのもと、SUCに参加の方から急遽募り、渋谷さんのご厚意で、去る10月20日(日)の翌朝からお伺いしました。



今回参加は会計 桂田、同浅間、渋谷副会長の当会3名に加え、SUCの二次会で工学院大学の方々と

一緒に合流させて頂いた縁で、工学院大学湘南支部白井精慈支部長代行を交えて、えだまめ収穫を行いました。

当日は昨日の箱根駅伝予選会・SUC時の暑さから打って変わって、天候もギリギリ持ちりましたが、手がかじかむ寒さでした。

前回と同じサツマイモ畑の外周にて3畝ぐるりと植わっている大豆は大変多く、今回も全部収穫しちゃって!!と言われましたが、1辺がやっついで、日頃の運動不足も相まり、へろへろになりました。

それでも軽トラックに山盛りとなり圧巻でした。ご厚意で、これまたシルクスイート(サツマイモ)



もこれまた少し掘らしていただき、併せてお土産とさせていただきます。

畑では、サツマイモの花が所々咲いておりました。ヒルガオ科の植物なので、アサガオと似た花なのは当然ですが、色も濃く、寿命は短く可憐な花でした。



子供の時に見たことありませんでしたが、あまり見た覚えはなく、もっと白っぽかったと記憶しています。

浅はかな調べですが、実は、サツマイモの花は条件が揃わないと咲かない珍しいものだそうです。日本の栽培環境では条件が揃いづらく、見かけることがあまりできない花とのことです。花言葉は『乙女の純情』とのこと・・・

短日性植物で、高い温度と日照時間が短くならないと花芽を付けない、もとは熱帯・亜熱帯の作物との

こと。日本では沖繩ぐらいしか咲かないと言われていたようですが、今年の10月に入っても夏日だったというような高温がもたらしたことででしょうか。門外漢なので、委細は専門の先輩・後輩諸氏に譲りますが、品種によっては「普通に咲いているよ」と言われそうです。

渋谷副会長には、この時期大変お忙しい中、誠にありがとうございます。

たぶん頂いたえだまめは前回の2倍強です。近所にも配らせていただき、美味しくいただきました。(敬称略)



工学院大学 白井様より

「SUC翌日の枝豆収穫体験会にご招待いただきありがとうございました。本当にたくさんの枝豆と新鮮なさつまいもまでいただき早速調理いたしました。たくさんいただきましたので親戚にも、おすそ分けしました。まさに交流の場をいただきましてありがとうございます。SUCにも非常に有意義なひと時でした。感謝申し上げます。」

### 《 湘南なぎさ会 会員会費・箱根駅伝強化支援(寄付金)のお願い 》

- いつも大変恐縮ではございますが、皆様のご厚意にて会を運営させて頂いております。
- 毎度お願いになりますが、湘南なぎさ会会費の会費(2,000円)の納入をお願いいたします。
- 会の活動・運営に欠かせない会費であります。まだご納入されていない方は、郵便払込用紙を同封いたしますので、誠に恐縮ですが**1月31日**までにご納入賜りますようお願い申し上げます。
- 来年正月は、惜しくも箱根駅伝本戦出場となりませんでした。引き続き当会でも出来る限りの支援と、本線出場に向けて陸上部選手強化支援として、『箱根駅伝への道-one コイン募金』を募ります。会員会費と併せまして、誠に恐縮ですが、重ね重ね宜しくお願い致します。

#### ★会費・箱根駅伝支援金の納付についての問い合わせ・送付先★

会 計 浅間祐一 藤沢市辻堂元町

T E L

郵便振替 00250-3-98558 (郵便局振替払込口座番号)

口座名義 東京農業大学校友会 神奈川県支部 湘南なぎさ会

#### ★箱根駅伝・選手強化支援についての問い合わせ・連絡先★

幹 事 長 橋本利男 藤沢市羽鳥

T E L

F A X



# 役員名簿

(令和5~6年度)

役職	氏名	住所	電話	卒年—学科	
会長	神田 務	藤沢市湘南台		昭45-造	
副会長	大久保泰明	寒川町小谷		昭51-短農	
	渋谷忠宏	藤沢市西俣野		昭53-農	
幹事長	橋本利男	藤沢市羽鳥		昭51-造	
副幹事長	後藤茂樹	海老名市今里		昭51-林	
	井出一浩	寒川町宮山		昭61-短農	
会計	桂田 孝	鎌倉市西鎌倉		昭54-造	
	浅間祐一	藤沢市辻堂元町		平9-産生	
幹事	高井博文	藤沢市亀井野		昭42-経	
	三堀雅道	茅ヶ崎市円蔵		昭44-造	
	長嶋喜満	藤沢市宮原		昭48-造	
	谷 博人	寒川町宮山		昭50-造	
	平牧直樹	茅ヶ崎市柳島		昭54-経	
	前田静男	藤沢市宮原		昭57-工	
	高橋芳嗣	茅ヶ崎市円蔵		昭62-短農	
	尾嶋 博	藤沢市西俣野		平4-林	
	内野宏幸	藤沢市宮原		平5-産生	
	帖佐寛樹	藤沢市鵜沼海岸		平10-開発	
	熊山将敏	藤沢市瀬郷		平12-短緑	
	田島伸樹	藤沢市湘南台		平12-短緑	
	監事	初見直義	藤沢市辻堂元町		平10-造
	相談役	浅場 亘	藤沢市本鵜沼		昭44-造
青木正保		寒川町宮山		昭53-造	

鎌といえ、ノコギリ鎌や播州系の三日月型の刃鎌がお馴染みだが、以前は地産地消でその地域の野鍛冶と共に独自の進化をして、固有の文化の一面もあつたそう。

その名残か東日本は片刃、西日本は両刃といつた違いはまだある。関東・神奈川では半月型の刃線が真直ぐの片刃の刃鎌である信州鎌※(又はその派生型)が、昔は主流だったそう。

※右画像参照

信州鎌は、農家の生産サイクルに合わせ形が変わり、1年で使いきるものだったとのこと。具体的には春は柔らかい草のため、直線の刃で払い刈り、麦の季節には刈る物が硬くなり研ぎで少し湾曲、秋の稲刈り頃には更に硬くなり研ぎ減らされ三日月型に変化、冬には小さく角度も斜めになり縄切り等に使用される。農閑期には信州・越後からまた売りが来て、春からまた新しい物を使うという。

うちにもずいぶん古いと、信州大鎌(立って使う)があるが、もう既にあまり使わなかったから残っていたのだらう。



## 編集後記

今年も皆様のご厚意により会報をお届けできました。正月の箱根駅伝の応援には大変多くのOB諸氏・現役生が駆け付けました。おかげ様で箱根駅伝応援も盛大にできました。ご寄付・心付け等大変ありがとうございました。来年は出場叶いませんでしたが、次こそは確実です。【橋本】

日本酒・焼酎・泡盛といった「伝統的酒造り」の技術がユネスコの無形文化遺産登録決定した。酒造メーカーの農大の現卒業生在職率は50%とのこと。聞くところによると何らかの関係を持つのは実に8割を超えるとのこと。このところ地方の造り酒屋に行っても、訪日外国人がどう調べて来ているのか、多く見かけます。【浅間】